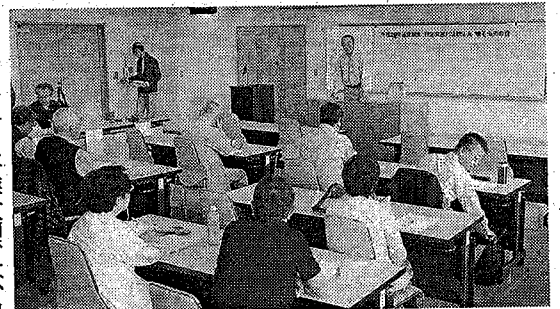


北海道建設新聞

2014年(平成26年)4月29日(火曜日)

雄冬山までルート復元 増毛山道の会が総会で決議



復元ルート延長で新たな展開について話し合った

【留萌】増毛山道の会は26日、2014年度通常総会を開き、新たに岩尾分岐点から雄冬山直下までの山道復元に取り組み、体験トレッキングコースの選択肢を増やすことなどを決めた。

伊達東会長は「雄冬山までのルートはこれまでの林の中とは異なり、新しい魅力を提供できるだろう」とした上で、「ここから石狩市浜益区幌までの復元にはさらに多くの課題があるが、貫通を目指したい。ことしも多くの人に山道を体験してもらうため安全第一で活動する」と述べた。

事業計画では、岩尾分岐点から雄冬山直下のA1-5測点までの5.1キロの山道復元をはじめ、従来の16キロフルコースと5キロミニコースに加え、雄冬山まで歩く19キロのアタックコース、バスでミニコースと同じスタート地点まで上り、帰路は岩尾まで徒歩で下山する10キロのミドルコースの体験トレッキングコースを設定し、参加者の幅を広げる。

留萌市内の児童と親による「増毛山道を親子で学ぼうかい」開催など新規事業を決定。このほか、山道のササ刈りなど維持や活動充実のため、会員

増強を推進するよう
を決定した。